

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名): ラスピカ
供給者の会社名称: 株式会社 タセト
住所: 〒251-0014 神奈川県藤沢市宮前 100-1
担当部門: 品質保証グループ
電話番号: 0466-29-5636
緊急連絡先及び電話番号: 0466-29-5638 (化学品技術グループ)
推奨用途: ステンレス鋼等のもらい錆除去剤
使用上の制限: 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐ

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性: 引火性液体 区分に該当しない
健康有害性: 皮膚腐食性/刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
※ 物理化学的危険性、健康有害性、環境有害性に関し、上記以外の項目は、「分類対象外」、「分類できない」又は「区分に該当しない」である。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

皮膚刺激

強い眼刺激

注意書き:

【安全対策】

ミスト/蒸気の吸入を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
必要なとき以外は、環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合: 多量の水/石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

【保管】

子供の手の届かないところに置くこと。

【廃棄】

容器を密閉して、涼しく換気の良い場所で保管すること。
内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って産業廃棄物として処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

成分及び含有量:

化学名 (一般名)	濃度 (wt%)	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)
水	70~76	7732-18-5	—
チオグリコール酸アンモニウム	22~28	5421-46-5	非公開
防腐剤	<0.1	非公開	非公開

危険有害成分:

労働安全衛生法 57条の2の通知対象物質

化学名	CAS No.
チオグリコール酸アンモニウム ¹⁾	5421-46-5

1) 2027年4月1日以降(基安化発0111第1号の要請に基づき記載)

4. 応急措置

吸入した場合:	直ちに、被災者を新鮮な空気のある場所に移す。 気分が悪い時は、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合:	直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと、取り除くこと。 多量の水と石鹸で洗う。 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診察を受ける。
眼に入った場合:	こすらずに、水で数分間注意深く洗い、医師の手当てを受ける。 コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。 まぶたを親指と人さし指で拵げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。 眼刺激が持続する時は、医師の治療を受ける。
飲み込んだ場合:	直ちに口をすすぎ、うがいをする。 大量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。 気分が悪い時又は身体に異常を感じる時は、医師の治療を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	散水、噴霧水、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤:	棒状注水
火災時の特有の危険有害性:	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法:	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 風上から消火活動をする。 環境に影響を出さないよう、できるだけ流出を防止する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:	作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 風上から作業し、漏出した場所の周囲には、関係者以外の人の立ち入りを禁止する。 密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項: 封じ込め、浄化の方法及び機材:	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 危険でなければ漏れを止める。 漏洩物をウエス等で吸収し密閉できる空容器に回収する。 回収した漏洩物は、後で適正に廃棄処分する。 後処理として、漏洩場所は大量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策:	全ての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 ミスト、蒸気の発生を防止する。 強酸化剤との接触を避ける。
	局所排気・全体換気:	作業中、蒸気やミストが発生するので、換気、局所排気を用いる。
	安全取扱注意事項:	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ミスト／蒸気を吸入しないこと。 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。 容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしないこと。
	接触回避:	「10. 安定性及び反応性」を参照
	衛生対策:	取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保管	技術的対策:	保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。
	安全な保管条件:	容器は直射日光や錆の発生しやすいところを避けて保管する。 容器を密閉して換気の良い場所で保管する。

混触危険物質:	混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。 強酸化剤
安全な容器包装材料:	ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	設定されていない
許容濃度(ばく露限界値)	
日本産業衛生学会(2023年版):	設定されていない
ACGIH(2023年版):	設定されていない
設備対策:	作業者が直接ばく露されないように、できるだけ密閉化した設備又は全体換気装置、局所排気装置を設ける。 この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
保護具 呼吸用保護具:	換気設備が不十分な場合は呼吸器保護具(防じんマスク、簡易マスク)を着用する。
手の保護具:	保護手袋(塩化ビニル製、ニトリル製等)を着用する。 「厚生労働省HP 透過試験データ一覧表」参照
眼、顔面の保護具:	適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)。
皮膚及び身体の保護具:	長袖作業衣を着用する。必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、形状、色など:	無色透明液体(淡紫色の場合あり)
臭い:	硫黄臭
融点/凝固点:	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲:	データなし
可燃性:	データなし
爆発下限界及び爆発上限界 /可燃限界:	データなし
引火点:	水溶液であり、引火しない。
自然発火点:	データなし
分解温度:	データなし
pH:	6~8
動粘性率:	データなし
溶解度:	データなし
n-オクタノール/水分配係数(log値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び/又は相対密度:	1.1~1.2
相対ガス密度(空気 = 1):	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	通常の実験条件において安定である。
化学的安定性:	通常の実験条件において安定である。
危険有害反応可能性:	強酸化剤と混触すると激しく反応することがある。
避けるべき条件:	日光、熱
混触危険物質:	強酸化剤
危険有害な分解生成物:	熱分解により、窒素酸化物、硫黄酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素等が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性(経口):	有用な情報がなく分類できない。
急性毒性(経皮):	有用な情報がなく分類できない。
急性毒性(吸入: 気体):	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入: 蒸気):	有用な情報がなく分類できない。
急性毒性(吸入: 粉じん及びミスト):	有用な情報がなく分類できない。
皮膚腐食性/刺激性:	皮膚刺激性がある。(区分2)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	眼に入ると刺激があり、放置すると粘膜が侵される。(区分2A)
呼吸器感作性:	有用な情報がなく分類できない。
皮膚感作性:	有用な情報がなく分類できない。

生殖細胞変異原性:	有用な情報がなく分類できない。
発がん性:	有用な情報がなく分類できない。
生殖毒性:	有用な情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	有用な情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	有用な情報がなく分類できない。
誤えん有害性:	有用な情報がなく分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性:	水生環境有害性 短期 (急性)	有用な情報がなく分類できない。
	水生環境有害性 長期 (慢性)	有用な情報がなく分類できない。
残留性・分解性:	データなし	
生体蓄積性:	データなし	
土壌中の移動性:	データなし	
オゾン層への有害性:	有用な情報がなく分類できない。	

13. 廃棄上の注意

- 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報:
- ・ 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。
 - ・ 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 - ・ 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
 - ・ 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 - ・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送:	IMOの規制に従う。
航空輸送:	ICAO/IATAの規制に従う。
UN No.(国連番号):	該当せず
Proper Shipping Name(品名):	—
Class(国連分類):	—
Packing Group(容器等級):	—
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策:	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。

国内規制がある場合の規制情報:

陸上輸送:	消防法ほか法令の規制に従う。
海上輸送:	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送:	航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号:	該当せず

15. 適用法令

労働安全衛生法:	通知対象物質: 非該当 がん原性物質: 該当せず 濃度基準値設定物質: 該当せず 皮膚等障害化学物質: チオグリコール酸アンモニウム 有機溶剤中毒予防規則: 非該当 特定化学物質障害予防規則: 非該当
消防法:	非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当
化学物質排出把握管理促進法: (PRTR法)	非該当
水質汚濁防止法:	有害物質: 有機酸アンモニウム塩を含む。

16. その他の情報

参考文献等:

- 1) 独立行政法人 製品評価技術機構(NITE) GHS分類結果

- 2) JIS Z 7252:2019「GHSに基づく化学品の分類方法」
 - 3) JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
 - 4) 許容濃度の勧告(2023)、日本産業衛生学会
 - 5) Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices、ACGIH(2023)
 - 6) ㈱タセト 社内資料(原材料SDS)
 - 7) 本データシートの最新版は、下記のホームページにてご確認ください。
<株式会社タセトホームページ//<https://www.taseto.com>>
-

記載内容の取扱い

本データシートは、製品の安全性に関する要求事項を記載しています。

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で当社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。取扱事業者は、この情報に基づいて、自らの責任において、適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保障するものではなく、本データシートには記載されていない、当社が知見を有さない危険性及び有害性のある可能性があります。